



北村 あや子 区政ニュース

昨年・2024年度決算を審議中

荒川区の2024年度決算を審査する特別委員会が19日から始まりました。初日の総括質疑で日本共産党荒川区議団は①学校建て替え・統廃合・小中一貫校などの計画について、②公契約条例についての2点を問いました。当日の様子はYouTubeの荒川区議会チャンネルでもご覧いただけます。

昨年度決算は・・・

2年連続基金取り崩し？…心配無用 32億円の剰余金！区民のくらしを支える財源はあります

区の決算状況は、歳入1249億円、歳出1216億円で、差し引き 32 億円の黒字。

しかし、三河島駅北再開発の権利変換での区の支出約 14 億円を次年度に繰越すため、実質黒字は 18 億円となります。ここでも1億円超えタワマン建設中心の市街地再開発への税投入の影響が出ています。

もう一つの特徴は、2年連続で合計 70 億円超の財補正予算の中身は「基金積み立て」だけ

9月会議に提出されている一般会計など3つの補正予算は、いずれも決算で出た「剰余金」を基金＝貯金に積み立てるものです。

荒川区の財政状況について(普通会計 単位:千円)

	歳入決算	歳出決算	剰余金	財政調整基金取り崩し
2024年	124,955,143	121,687,800	3,267,343	2,471,781
2023年	121,634,099	117,399,254	4,234,845	4,511,525
2022年	114,036,881	108,856,699	5,118,769	0
2021年	112,983,666	108,027,961	4,904,272	0

政調整基金を取り崩していることです。

しかし、使ったのは、南千住浄水場跡地と宮前公園用地の取得費 60 億円、残りも密集市街地整備用地購入などです。

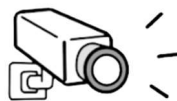
区の説明では、いずれも全額が4年間で都区財政調整交付金の「特別枠」で戻ってくるようです。

以上を鑑みますと、財源は十分に…。

今夏の異常な猛暑、一層ひどくなる物価高騰などによる区民生活への影響は深刻になるばかりです。それへの対策の検討はあったのでしょうか。

街の声

＊リフォーム押し売りしつこい営業が！日中は高齢者が多い地域なので心配です。防犯カメラを設置してほしい。➡生活安全課に相談しました。カメラ設置を検討するとのこと。個人で設置する防犯カメラや録画機能付きドアホンなど、防犯対策購入費補助もあります。詳しくは区のホームページ(右 QR コード)をご覧ください。



＊高齢者の紙おむつ購入権を利用していたが数か月前に救急搬送され入院。転院～退院後、入院中の紙おむつ代助成があることを知った。ところが、さかのぼって請求できず、申請した月だけだった。入院しているのにそんなに素早く対応できません。➡ごもっともです。さかのぼって助成できるように要望しました。



これまでの区立学校統廃合の総括を

諏訪台中学校は十中(現校舎地)八中(諏訪台中の第2校庭)日暮里中(ライフ&シニアハウス)道灌山中(西日暮里再開発用地)の4校統合で、日暮里地域に一つの学校となってしまいました。学校の受入れ数をはるかに超える学齢簿数ですが、3割近くが私立中学に入学している状況で、何とか収まってきました。

2002年度からの学校選択制の導入もあり特別教室を普通教室に変更してクラス数を増やしてきました。マンション建設や三河島・西日暮里の再開発もあり、現在13クラス→将来24クラスを予想し、六日小の建替えて小中一貫校を計画。

ひぐらし小も第四日暮里小学校(現校舎地)と真土小学校(再開発地域)を統合。日暮里地域の中小マンション等の増加で2018年度から教室不足になりました。校舎内にある西日暮里2丁目ひろば館と学童クラブをひぐらし小の校庭に建設し、普通教室を増やしました。



ひぐらし小の校庭に建設し、普通教室を増やしました。

峡田小も校庭に増設校舎を建設。狭い校庭が更に狭くなります。

これまでの統廃合の結果をしっかりと総括し、学校建替えと統廃合・小中一貫校、学校選択等を検討する必要があるのではないのでしょうか。

2000年に出された学校統廃合案は地域ぐるみの運動でストップに

2000年荒川区小中学校適正配置等検討委員会報告が出され、2001年度に計画策定2003年度以降の実施を目指すとしていました(右上画像は当時の区報)。

名指しされた学校PTA・地域・都教組荒川支部などで運動が広がり、2001年05月27日投票の区長選挙で「統廃合に見直し」を公約に掲げた候補が当選し、結局実施されませんでした。

2001年7月4日の区議会文教委員会で、当時の区教育長が「何より新区長の公約を受け止めたこと。加えて説明会を通じて出された関係者の意見を考慮する必要があること。さらに今後予想される状況変化等を勘案すると現行計画を実行することは極めて難しい。学校選択の自由化を同時並行で進めると混乱を招く。一旦、白紙に戻し新たな基準のもとに学校の再編成を図る」と答弁。この時、強行されていたら…今日の建替え計画はどうなっていたのでしょうか。教訓をいかすべきです。

2000年に出された統廃合案

尾久西小・尾久第六小・小台橋小
第七中・尾久八幡中
第四中・第九中
瑞光小・第六瑞光小
第二峡田小・第三峡田小
第二日暮里・第三日暮里
第一日暮里小・第六日暮里小



荒川区の教育を考えるタウンミーティング ぜひご参加ください 参加無料

日時:9月28日日曜日 10時~12時

会場:ふらっとにっぽり 3階多目的スペース (荒川区東日暮里6-17-6)

主催:日本共産党荒川区議団



会場:北村あや子事務所(西尾久2-4-8 1階)

日時:10月17日(金) 18:30~20:00

TEL&FAX:03-3894-6668 要予約

生活、仕事、相続…ひとりで悩まずに相談を 生活相談はいつでもどうぞ

